

中国の預金準備率引き下げ

金融市場の安定と景気回復を支えるための金融緩和

2023年3月20日

外部環境の悪化がサプライズの金融緩和を後押しした可能性が高い

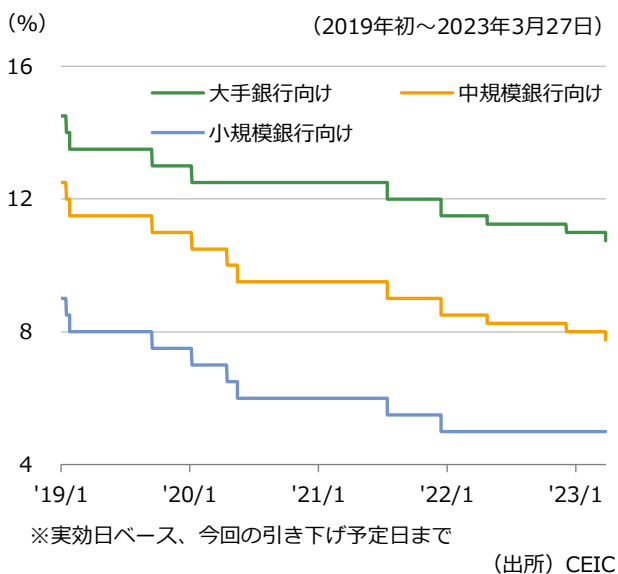
3月17日（現地）、中国人民銀行は27日から市中銀行の預金準備率（現在5%の銀行除く）を0.25%ポイント引き下げると発表しました。実質的には、大手・中規模の商業銀行が対象になります。約3カ月ぶりとなる今回の預金準備率の引き下げは、市場にポジティブサプライズをもたらしました。3月末には納税等による現金需要が高まりやすい季節性がありますが、ここもと公開市場操作を通じて大規模な流動性供給を行っていたため、預金準備率引き下げの可能性は低下したとみられていたためです。

しかし、10日の米シリコンバレー銀行の経営破綻をはじめ、欧米銀行の信用不安に起因する外部環境の目まぐるしい変化が、当局に金融緩和を促したと考えられます。米長期金利の低下は中国に金融緩和の余地を与えたほか、更なる金融市場の不安定化に備えるための十分な流動性供給の必要性も高まりました。

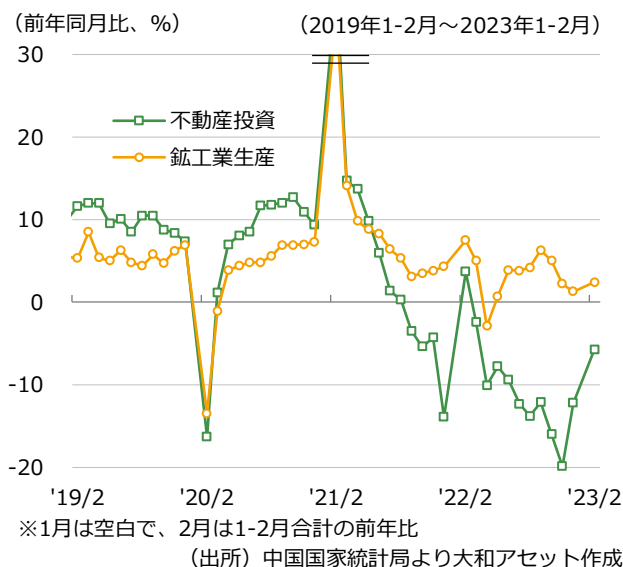
また、ゼロコロナ規制解除後の今年の景気回復は2020年のV字回復局面より鈍いとみられることも、当局の危機感を強めたと考えられます。1-2月の主要経済指標においては、鉱工業生産や小売売上高の前年比は低い伸びに留まりました。不動産市場も最悪期こそを脱出したものの、先行きは依然不確実性が高いと言えます。景気回復の道のりは長く、今後も追加の預金準備率引き下げの可能性が高いと見込みます。

足元の内外環境を踏まえてみると、想定よりも早いタイミングでの金融緩和姿勢は、当面の金融市場や、経済活動正常化過程の信用拡大と景気回復を下支えすると期待されます。

各種預金準備率の推移



主要経済指標の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。